

議会だより

つなぎ

JUNE
6

3月第1回定例会 平成30年度当初予算などを審議

☆総額48億7,230万円の当初予算を可決

☆平成29年度一般会計補正予算3,780万円の減額 P 2・3

☆平成30年度当初予算などを常任委員会で審議 P 4～6

☆一般質問 4人の議員が登壇 P 7～9

つなぎ議会だより

2018.6

発行：熊本県津奈木町議会
編集：議会広報委員会

〒869-1569
0966-78-5351

熊本県豊北郡津奈木町小津奈木2123
印刷：旭印刷株式会社



歳時記 ショット

大泊金刀比羅宮

100周年記念祭

4月8日(日) 大泊金刀比羅宮境内において、100周年記念祭が盛大に開催されました。当日は前日の暴風雨が嘘のような晴天に恵まれ、町内外から200人余りが集まりました。

朝から大人・子供の奉納相撲や赤ちゃん土俵入りがあり、午後からは式典の後、踊りや歌など各隣保班ごとの出し物で、おおいに賑わいました。

教育住民常任委員会活動報告

教育住民常任委員会では、昨年度より公園の充実を図るための調査研究を進めている。昨年度は、鹿兒島県長島町の公園を視察した。

今年度は、4月18日八代市坂本町の「くま川ワイワイパーク」へ出かけた。高低差のある立地条件を上手く取り入れ、自然と調和した遊具の配置で、階段を登るといった新たな運動がプラスされていた。子どもが喜ぶ遊具大・小に、スポーツクライミングのミニ板、健康づくり器具などが設置され、大人も子どもも楽しめる公園になっていた。それに、訪れた時も作業員4名で整備中であった。

帰り道、高速道路沿いの日奈久の公園にも立ち寄った。本町の公園の充実に向けて、意見を集約し、実現に努めていく思いである。



議会の うごき

【3月】

- 5日～19日 第1回議会定例会
- 8日 水俣・芦北地域振興財団理事会
- 9日 議会運営委員会
- 13日 広域行政事務組合議会定例会

【4月】

- 18日 教育住民常任委員会
- 19日 総務振興常任委員会

【5月】

- 16日 教育住民常任委員会
- 17日 総務振興常任委員会
- 21日 水俣・芦北地域振興財団理事会
- 22日 県町村議会議長研修会
議長会臨時総会
- 24日 広域行政事務組合議会臨時議会
- 28日 全国町村議会正副議長研修会
- 29日 正副議長による県選出国會議員への要望活動

【6月予定】

- 6日 議会運営委員会
- 13日～15日 第2回議会定例会

議会広報委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 澤井 静代 |
| 副委員長 | 柳迫 好則 |
| 委員 | 久村 昌司 |
| 委員 | 上村 勝法 |

本誌が配布される頃は梅雨入りが始まっているのではないだろうか。町内でも早いところは田植えが始まり、きれいな田園風景が各地域で見られる季節になってきた。田園といえば、昨年は至る所で害虫被害にあり、米の収穫が激減した。また、米に限らず果樹のほうもよくなかったと聞いたが、今年の収穫はよくなることを願いたい。たわいのない個人的な話になってしまった。

表紙の写真

S・S

編集後記

平成30年度 当初予算

総額 48億7,230万円

内訳 一般会計 29億6,700万円 特別会計 19億530万円

平成30年第1回定例会が、3月5日から19日までの15日間の会期にわたり開催され、平成30年度当初予算を主に、役場機構改革に伴う条例の改正および補正予算などを審議した結果、原案どおり可決された。

質疑応答

平成29年度補正予算審議
一般会計補正予算(第5号)

寺本信介議員

問 予約型乗り合いタクシー委託料で、96万7千円の減額理由は、

答 つなぎタクシーについては、委託料という形でむつみタクシーに支払うことになっていて、利用料があった分、委託料はその分減額になる。
この96万7千円も、2月までの見込みで、まだ3月まで確定していないが、利用があったので、この金額を下げている。

久村昌司議員

問 空き家リフォーム補助金マイナス240万円の理由と、今後はどうなるのか。

答 町有林が平成28年の台風により倒木したため、その被害林の搬出と間伐材の売払い金である。
問 財産収入に計上してある312万5千円は何を売却したのか。
答 町有林が平成28年の台風により倒木したため、その被害林の搬出と間伐材の売払い金である。

久村昌司議員
簡易水道事業特別会計補正
予算(第4号)

問 水俣市水道料が290万円の減額になっているが何故なのか。
答 現在岩城に配水タ

答 当初リフォーム分が50万円の3件分、家財道具整理分が30万円の3件分を計上していたが、リフォーム補助金の申請がなかった。今後はインターネットなどで周知を行い、貸借される方を探していきたい。

上村勝法議員

問 光ブロードバンド加入促進事業補助金で、130万円の減額だが、現在の加入件数と端末機の在庫はどれくらいなのか。
また、残りの処分はどうするのか。

答 光ブロードバンドが始まり2月末現在まで254件の申し込みがあり、450台程度の在庫がある。
機械そのものの最新の機種であったため、十年近くは対応できると考えており、広報と有線放送な

どで周知しながら加入者には率先して申請していただくよう思っている。

林 賢二議員

問 農業委員会の委員報酬で231万円計上されているが、内容はどのようなものか。
答 農地利用最適化交付金が交付されていることになり、農業委員会委員126万円、農地利用最適化推進委員105万円が支給される。農地の集積が単年度で8ヘクタール実施し、遊休農地も単年度で約24ヘクタール改修されたため、この交付金を農業委員、推進委員に配分する。

上村勝法議員

問 道路橋梁費の町道路で、1200万円の減額となっているが、その理由を求める。

答 減額理由として、幅5mの延長30mの道路改良工事を予定していたが、新幹線高架下の用地を取得するため、鉄道建設運輸施設整備支援機構との用地の譲渡と売却手続きが完了しなかつたため、減額で計上している。
久村昌司議員
問 住宅管理費の工事請負費は、竹中団地の15棟のうち9棟分の改修工事との説明であったが、なぜ今の時期なのか。また、15棟全ての改修は、平成30年度で終わるのか。
答 現在、建設から30年を経過して、経年劣化により外壁などの汚れが目立っている。津奈木町営住宅等長寿命化計画に基づき、9棟18戸の屋根瓦の塗装と、外壁の上にサイディングを張る。3月補正で予算を

計上したのは、地元企業の育成と早期発注、管理を行うためである。
今後は、平成30年度と平成31年度に計画をしている。
橋口知恵子議員
問 瓦は、どんな工事をしているのか。また、軽い瓦が台風の時には落ちにくいのではないのか。
答 現在のセメント瓦をずれ防止のためコーキングで固定し、高圧洗浄と塗装をする工事である。瓦はそれぞれ欠点も長所もあるので、セメント瓦の良さを出した改修をしたい。

澤井静代議員
問 玄関のひさし部分などを含め、外周リ全体を改修するのか。
答 玄関の屋根、窓の木枠などの改修も含め、全体的にリフォームをする。

現在岩城に配水タ

補正予算の主なもの

事業名	予算額	事業内容
施設用備品購入費	4,063 千円	役場機構改革による配置替えにあわせ、旧タイプの事務機・キャビネットなどの入替えを行う。
空き家リフォーム事業補助金	△ 2,400 千円	実績見込みにあわせて減額
光ブロードバンド加入促進事業費補助金	△ 1,300 千円	加入者の実績見込みにあわせて減額
合併処理浄化槽設置補助金	△ 7,280 千円	設置実績により減額
農業委員会委員および農地利用最適化推進委員報酬	2,310 千円	農業委員および農地利用最適化推進委員の成果実績に応じて交付される交付金の決定により増額
町道河原線道路改良工事	△ 12,000 千円	用地譲渡および売却手続きに時間を要し、本年度着工が困難になったため減額
竹中団地改修工事	80,683 千円	平成30年度からの実施予定を前倒しで実施するため、全15棟のうち9棟の改修経費を増額



総務振興常任委員会の審議状況

平成30年度当初予算 一般会計・特別会計の内訳

一般会計予算 対前年度比 1,200万円の増

会計区分		本年度当初予算額	前年度当初予算額	比較
一般会計		29億6,700万円	29億5,500万円	1,200万円
特別会計	国民健康保険	8億8,310万円	9億6,700万円	△8,390万円
	後期高齢者医療	8,100万円	8,020万円	80万円
	簡易水道事業	1億6,200万円	2億4,400万円	△8,200万円
	介護保険事業	7億4,220万円	7億1,000万円	3,220万円
	恒久対策事業	1,700万円	1,700万円	0万円
	宅地造成事業	2,000万円	2,000万円	0万円

答 現在光回線が町内全域に網羅されています。今回の電話回線の改修に併せて内線で教育委員会とをIP電話でつなぐことにします。メリットとしては回線通話料が無料になり、年間の通話料が50万円から80万円下がる見込みです。

問 町地域ブランドディング推進業務委託料はどのような内容なのか。

答 小さくて強い産業づくり事業の環境

で行っており、町全体の様々な資源を絡めての町づくり、また物産館を活用し、町全体の資源を売り出していくためのプラン作りを専門家へ委託する事業です。

問 農作業支援事業補助金とあるが、アグリサービスを利用したとき補助金はいくらなのか。また、シルバー人材にも適用できるのか。

答 アグリサービスのうち335円を町で補助するもので、農業法人の利用時のみ適用となります。

問 戸建て木造住宅耐震改修工事補助金とあるが、初めに耐震診断をするのか。

答 工事を進めるには耐震診断が必要になり、診断に掛かる費用5千円または1万9千円は自己負担で実施して頂

は自己負担で実施して頂

各常任委員会の審議状況

本議会において、平成30年度当初予算を主に、各常任委員会に付託され、審議された結果について、各常任委員長から報告があり、3月19日の本会議において可決された。

総務振興常任委員会

条例

- 機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- 津奈木町情報公開条例及び津奈木町個人情報保護条例の一部改正
- 津奈木町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 津奈木町工場等設置奨励条例の制定
- 津奈木町営住宅管理条例の一部改正

予算

- 平成30年度津奈木町一般会計予算（総務振興常任委員会所管分）
- 平成30年度津奈木町簡易水道事業特別会計予算
- 平成30年度津奈木町恒久対策事業特別会計予算
- 平成30年度津奈木町宅地造成事業特別会計予算

問 機構改革に伴い、人員が減少する部署が出てくるが、業務に支障が出るのではないのか。



現地調査（町道合申福浦線）

き、診断結果に基づいて、補助金が受けられるか判断します。

問 水俣芦北広域消防事務組合消防費負担金4千万円ほどの増額で、芦北消防署の建て直しは予定されているが、今後人員の増員や組織の体制、また、管轄はどうなるのか。

答 芦北消防署は築40年ほど経過しており、車庫および事務所が狭く耐震基準を満たして

は自己負担で実施して頂

教育住民常任委員会

条例

- つなぎ文化センター条例の一部改正
- 津奈木町子ども医療費助成に関する条例の一部改正
- 津奈木町敬老祝金条例の一部改正

いないため1市2町の合意のもと、旧芦北プラザ跡地に建設が予定されています。平成29年度から平成30年度で基本設計・実施設計を行い、平成30年度から平成31年度にかけて建設予定です。人員配分については増員が決定しており、管轄については現在、平国・合申・福浦地区は水俣消防署が管轄でありましたが、建設後は芦北消防署に管轄が変更されると聞いています。

答 政策企画課が新しく設置され人員を配置するため、他の課にシワ寄せがくるのは避けられませんが、プラスになる部分が大いと考えられています。

役場組織の見直し 3課2事務局 ⇨ 6課2事務局

- 新たに政策や企画を行う政策企画課を新設
- 住民課を住民課およびほけん福祉課の2課に
- 出納室を会計課へ

問 庁舎内ビジネスホンを借り上げの内容は。また、メリットはあるのか。

○ 津奈木町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

○ 津奈木町国民健康保険条例の一部改正

○ 津奈木町介護保険条例の一部改正

予算

- 平成30年度津奈木町一般会計予算（教育住民常任委員会所管分）
- 平成30年度津奈木町国民健康保険事業特別会計予算
- 平成30年度津奈木町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 平成30年度津奈木町介護保険事業特別会計予算

委員会予算など審議での主な質疑

問 子ども医療費の助成拡大では、18歳未満で在学せず就労して

子ども医療費助成の拡大

対象者が
中学生⇒**高校生**までに

制度であったものが悪いものになる。近隣市町村にあわせる必要はないのではないか。
また、平成30年度は80歳も対象になるが、平成31年度にはなくなるため、金品の支給が出来るのであれば祝い品などの贈呈を検討したかどうか。

答 80歳については、今年度限りの改正

いる者は、対象になるのか。また、通信教育を受けている者は対象になるのか。

答 高等学校等就学支援金の支給に関する法律に規定される高等学校などに、通っている高校生が対象になる。

問 80歳で敬老祝金をもらうことができなくなることで、長生きをしないと支給が受けられないことになる。良い

敬老祝金を米寿祝金に！
80歳 1万円および90歳 2万円の支給が
88歳（米寿）2万円の支給へ一本化
※本年度に限り、89歳・90歳および80歳の対象者へは一時金の支給があります。



教育住民常任委員会の審議状況

となつていているが、委員の意見を踏まえて来年度以降については内容の検討を行う。

問 木製の机と椅子を導入したのはいつか。今後はスチール製に変わっていくと考えているのか。

答 平成12年度から平成14年度の間に導入された。木製の机と椅子は、丈夫だが非常に重く、高さ調整なども簡単に出来ない作りである。学校からの要望もあり2

住宅リフォーム助成事業の新設を

問 転入者への定住促進事業補助金が町内在住者も申請できるようにしたが、どのような工事に適用されるのか。転入者に限らないのであれば、住宅全般に適用できる住宅リフォーム助成事業にするべきではないか。
前町長は、住宅リフォーム助成は個人資産への公費投入にあたると思われるが、町長の考えは。

答 定住促進事業補助金は、定住の促進に加えて町内の業者・個人の建築業などの経済対策として実施する。昨年までは転入者だけであったが、町内の方も利用対象とし、新築の住宅全体それに伴う車庫や塀などの外構工事に対し、町内の業者を使うことで助成する。

住宅改造については、高齢者および介護保険での住宅改造補助金や耐震化の支援を利用してほしい。
住宅リフォームは、自分たちの資金・貯金でやるべきと基本的に考えている。

災害に備えての町の避難訓練は

問 避難訓練は、災害時に慌てず行動できるように繰り返し行う必要がある。

答 本町での避難訓練の実施状況は、確実に避難できる指導は行われているのか。
避難訓練は、一昨年の11月に県の総合防災訓練に合わせて大規模な訓練を予定していたが、熊本地震の影響で実施を断念し、延期されたままになっている。
地震以後5地区では訓練

年でスチール製に変えていく。

問 町民体育祭について、平成30年度は、大きく変更されるようだが教育委員会の判断か。

答 体育部長にアンケートを採り教育委員会で協議し、体育協会理事会で決定し、各地区の体育部長にも通知している。

問 人間ドックを受けたい人への対応はどうするのか。また、特定健診などの受診ができる医療機関が限られているのか。

答 広報などで周知していく。特定健診については、水俣市芦北郡医師会に依頼をし、協力できる医療機関で受診できる。

問 介護予防ボランティア養成事業と

を実施した。本町は大規模な災害がないため防災意識が低いことから、防災意識の向上のため地域の自主防災組織の活性化が必要で、積極的な机上訓練などを依頼している。区長会研修で自主防災組織の研修もされている。

総合防災訓練は、平成30年度中に計画したい。各地区からの要望があれば個別に実施していく予定としている。

不妊治療助成制度の新設を

問 妊婦健診、子供・子育て支援は、徐々に充実しつつあるが、不妊治療への助成は実施されていない。

不妊治療費は、高額になるため治療をあきらめざるを得ない。治療費の自己負担軽減のために助

は。また、ボランティアの対象者は地域住民か。
答 新規事業であり、実際見ている方、今後住民主体のサービスを増やしていくために養成事業を行う。地域住民を対象とし、参加しやすい時期なども考慮していく。

現地視察において、小学校プール更衣室改修工事については、水泳の授業に間に合うよう早急な着工を要望した。



現地調査（広域クリーンセンター）

成を行う必要があるのではないか。

答 熊本県特定不妊治療費助成事業があり、対象者に制限があるが、県内での利用者は、延べ人数1412人、津奈木町では延べ人数4人である。

熊本県特定不妊治療費助成事業に乗せや独自の助成事業を実施している市町村は25市町村あり、特定不妊治療だけでなく、一般不妊治療への助成を行っている市町村もある。

芦北町の助成額は、特定不妊治療にかかる費用から熊本県特定不妊治療費助成を差し引いた額の7割で、1回の治療につき自己負担限度額を3万5400円としている。
町としては、これからの課題として受け止めたい。

不妊治療費の助成を行う必要があるのでは



橋口 知恵子 議員



上村 勝法 議員

副町長は、置かないのか

副町長不在のままでも、良いのか

問 昨年7月に20年ぶりの町長選挙が行われ、山田町長が就任された。

答 7カ月が経過し、施政方針と公約、そして、所信表明で述べた人口減少、少子化対策と農林水産業の振興と地元企業育成、雇用確保に取り組みたいこと、早速いくつか実施されてきた。役場内の機構も見直し、充実した改革ではあるが、副町長不在で町政運営に支障はないか、また必要ではないのか。

答 私も職員上がり、そして副町長として経験もある。現在一人二役という状況だが、各課長また補佐の協力を得ながら町政に支障がないように頑張っている。

県下市町村でも、少なからず副町長不在のところもかなりあるが、今後副町長の人事については、人選をしながら議会に諮りたいと今は考えている。

問 今後、町政運営が十分に発揮できるのか危惧する議員、職員、町民がおり関心を持っている。

答 考えている範囲でよいので、委ねる適任者ほどのタイミングで副町長を任命されるのか。時期などを伺いたい。

答 まだ、そこは白紙である。



村上 義廣 議員

今後の旧平国小学校の利活用は

旧平国小学校の今後の利活用について

問 閉校して2年になる平国小学校の跡地などの利用について、学校跡地、校舎、運動場、体育館などを、どのように利用したいと考えているのか。

答 地域の要望により、マルチエヤ木工教室などのイベントも開催されている。今後は、さらに地域が一つになれるような、イベントができるよう期待している。

答 また、グラウンドや校舎周辺の草払いや植木の剪定などについては、シルバー人材センターに依頼して行っている。まずは、地域で存分に使っていただくことが一番の跡地利用になるのではないかと考えている。

高潮対策は、その後どうなっているのか

問 高潮対策で、現在の合串漁港臨港線の階段部分の土のうの撤去と、今後の措置はどうするのか。

答 県が管轄しているため、県の漁港漁場整備課に確認をしたところ、土のうの状態が悪いところだけ3ヶ所取りかえたという回答であった。

今後については、県は高潮から沿線住民の生命と財産を守るための措置として開口部は塞ぎたいと考えているようである。何らかの理由でどうしても開口部を残したいのであれば、階段式で行うかその他の方法で実施できるような検討したいということだったので、町としても強く要望してきたと考えている。

舞鶴城・四季彩一帯の基本構想とは

久村 昌司 議員



基本構想と維持管理は

問 重盤岩および舞鶴城公園一帯を、これまで以上に魅力ある観光資源としての拠点にするための基本構想とは、どのように考えているのか。

答 また、舞鶴城公園の委託料と他の公園の委託料を分ける予定と聞いたが、それぞれ維持管理ができるのか伺いたい。

答 現在植林した木々が大きくなり、大部分が密林状態になっている。今回、現地の地形や植栽の状況を調査分析して、公園デザイン専門家や活性化委員会等の意見を聞きながら、現資源を活用したデザインまたはテーマを作成していく。委託料については、舞鶴城が544万円、他の公園が200万円程度で、

合計額としては例年と変わりがない。維持管理は今後も続けていきたい。

今後の町有施設改修について

問 四季彩周辺の町有施設の改修が必要になるのか。

答 まず、四季彩については1億4千万円程度、グリーンゲイトが1200万円程度、美術館が3千万円程度、文化センターが3億2千万円程度かかると思われる。

本町では津奈木町公共施設等統合管理計画を平成29年3月に作成している。現時点で町が所有するすべての施設をそのまま更新した場合、計画では今後40年間で327億円、年間平均で8億2千万円必要になると予想され

問 今後どのような計画をたてられているのか。

答 また、次年度より機構改革も予定され職員の皆さんに負担がかかり、町民が切に要望する施策などが出来なくなるのではないかと危惧されるが如何か。

答 全国的に公共物が限界を迎えて建て替える必要がある。本町もそれぞれの施設の長寿命化を図るとともに、補助事業や交付金などをうまく活用しながら投資的経費に限度額を設け、適正な予算執行を行っていききたい。また、町民の要望に答えられるよう職員を配置し組織改革を行っていききたい。